

事業所名

機能アップ型スモールステップ ワンダー

支援プログラム (参考様式)

作成日

6

年

12

月

1

日

法人(事業所)理念		笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ										
支援方針		利用者様に応じての個別支援計画、オーダメイド療育のプログラム作成、実行 普段経験出来ないイベントやお友達と過ごす楽しさ、異年齢集団でお友達同士や大人との接し方を学び生きていくために必要なスキルを支援する。 保護者様の心のケアにも寄り添い、密に面談を行う。										
営業時間		12 9	時	0 0	分から	18 15	時	0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	お迎え、来所時に体調確認を行い健康状態を把握します。また、簡単な運動を取り入れたほぐら体操を毎日活動前に行うことで適度な運動を行うことができ、体力維持や筋への刺激を促します。食事時のマナーや日常生活に必要なスキルは、その都度お伝えしながらお友達と一緒に取り組んでいただき、生活リズムを形成していきます。										
	運動・感覚	活動でダンスやツイスターゲーム、ボルダリングなどの全身運動を取り入れ、体幹機能や四肢の筋力、ボディコントロールの向上にアプローチしていきます。また、トランプやジェンガなどのボードゲームを行うことで、手指の動きのレパートリーや巧緻性を養い、それによる脳の活性化、また、箸の持ち方や筆圧を高めるなど日常生活に活かすことができるよう支援していきます。										
	認知・行動	絵カードと声掛けを用いて視覚、聴覚の両方からアプローチすることで情報収集力、認知機能の向上を促します。また、余暇活動の場所を区切る、活動や終わりの会の時間を事前に伝える等を行うことで、空間や時間の概念を形成し行動できるよう支援していきます。										
	言語 コミュニケーション	始まりの会、終わりの会、活動などで進行役をしてもらうことでコミュニケーション力や発信力の向上にアプローチしていきます。また、積極的な会話や5音や単語のカードなどを用いての活動により発語の増加を促します。言語のみでなく身振り手振りやサインでも発信できるよう支援しております。										
	人間関係 社会性	活動でペアやチームを組み、その中で役割分担等の話す機会をつくることで集団行動への参加、信頼関係の構築を行い人間関係や社会性にアプローチしていきます。また、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を用いて意思表示や相手の気持ちを考える等、自己や相手を受容し社会的なスキルの習得を目指します。										
家族支援		半年ごとに保護者面談を実施し個別支援の計画、共有				移行支援		作業所体験でのレクリエーションの参加、進路相談の定期開催				
地域支援・地域連携		進学先、就職先との定期的なケース会議				職員の質の向上		毎日のミーティング、毎週の会議(研修)、外部研修				
主な行事等		プロジェクションマッピングを用いた全身運動や学習、ボルダリング、ダンス療育、ツイスターゲーム、カードゲーム(絵カード、トランプなど)、体幹トレーニング(バランスボール、マット運動など)ボードゲーム、ルービックキューブ、音楽療法、外出行事、季節行事、調理実習、作業所体験、発表会(白ゆりまつり)、スポーツ大会、サッカー大会										